特任教員の公募について

北陸先端科学技術大学院大学
未来創造イノベーション推進本部長
寺　野　　稔

北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）は、「科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する」ことを理念とし、グローバルな社会への貢献、社会や産業界のリーダーの養成を目標に掲げています。自然環境・文化的雰囲気に優れ、研究・教育活動に専念できる石川県能美市に所在し、世界的な大学院大学を目指して活発に活動を展開しています。

北陸先端科学技術大学院大学の理念

北陸先端科学技術大学院大学は、豊かな学問的環境の中で世界水準の教育と研究を行い、科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する。

北陸先端科学技術大学院大学の目標

- **先進的大学院教育を組織的・体系的に行い、先端科学技術の確かな専門性とともに、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力をもつ、社会や産業界のリーダーを育成する。**
- **世界や社会の課題を解決する研究に挑戦し、卓越した研究拠点を形成すると同時に、多様な基礎研究により新たな領域を開拓し、研究成果の社会還元を積極的に行う。**
- **海外教育研究機関との連携を通して学生や教員の交流を積極的に行うとともに、教育や研究の国際化を推進し、グローバルに活躍する人材の育成を行う。**

このたび、下記の要領で教員を公募いたします。皆様の積極的な応募を期待しています。

記

１．公募人員：　知識イノベーション研究センター
　　特任教授、特任准教授又は特任助教　１名

２．主な職務：
（１）安全保障輸出管理審査・体制管理に係る業務
（２）利益相反マネジメントに係る支援業務
（３）その他安全保障輸出管理支援業務

３．応募資格：
（１）安全保障輸出管理に関する資格（CISTEC 認定試験資格等）を有すること
（２）組織内において研究開発等における安全保障貿易管理業務の実務経験を有すること
（３）組織内において利益相反に関する実務経験を有することが望ましい
（４）日本語、英語を使ってのコミュニケーション能力のある方

４．待遇：

（１）勤務形態

専門業務型裁量労働制（１日 7 時間 45 分相当）

休日：土日曜、祝日、年末年始、創立記念日、夏季一斉休業日

※必要に応じて休日勤務を命ぜられることがあります。

（２）給与・手当

年俸制を適用。

基本給： 804 万円（特任教授の場合）

684 万円（特任准教授の場合）

504 万円（特任助教の場合）

諸手当は、扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、超過勤務手当及び休日給（実状に応じて支給、国家公務員に準じた取扱い）の適用あり。

（３）社会保険

文部科学省共済組合（健康保険）、厚生年金保険、労災保険及び雇用保険に加入

５．着任時期： 令和９年６月１日

６．雇用期間：

令和９年６月１日～令和１２年３月３１日

年度ごとに更新。令和１２年４月以降も雇用延長する場合があります。

７．試用期間：

あり（採用日より６ヶ月間）

８．応募書類（１つの電子ファイル（PDF ファイル又は Word ファイル）として作成の上、提出）：

＊作成上の注意事項に従ってご作成ください。

（１）履歴書（写真添付）

（２）これまでの活動について

安全保障貿易管理や利益相反マネジメントに関する実務経験、組織運営等への経験、留学経験または海外との業務経験など、特に重要と思われる事項について

（３）知識イノベーション研究センターにおける活動に関する雇用期間中の計画・抱負

（４）応募者本人の連絡先（郵便宛先とＥメールアドレス）

（５）意見を伺える方２名の氏名・所属と連絡先（Ｅメールアドレス）

（６）安全保障輸出管理に係る特定類型該当性の自己申告書（別紙様式を提出してください。）

Word ファイル：https://www.jaist.ac.jp/top/data/self-declaration-f-je.docx

９．応募締切：

令和８年１２月１８日（金）　１７時（日本時間）

１０．選考方法：

これまでの安全保障貿易管理に関する実務経験、今後の計画や抱負に基づき選考します。また、必要に応じ照会者の意見も参考にします。

書類選考で選ばれた候補者に面接を行います。面接は上記応募資格に挙げている項目について日本語で行います。別途、提出いただいた資料に関する説明などをお願いすることがあります。

応募の秘密を厳守します。

１１．選考スケジュール：

令和９年１月下旬　書類選考

令和９年２月２５日（木）又は３月４日（木）　面接

面接に係る旅費・宿泊費等は応募者の負担とします。

１２．書類提出先：

北陸先端科学技術大学院大学

共創活動推進課長　宛

Ｅメールにより提出してください（提出先： sien@ml.jaist.ac.jp)。

なお、Ｅメールの「Subject」は、「教員応募書類（特任教員)」としてください。応募書類受付後、本学からメールを返信しますので、ご確認願います。

１３．問合せ先：

共創活動推進課イノベーション創出支援係

Tel：0761-51-1906

e-mail：sien@ml.jaist.ac.jp

１４．募集者：

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

１５．その他：

受動喫煙防止の措置として、キャンパス内を禁煙としています。

「履歴書」,「これまでの活動」及び
「知識イノベーション研究センターにおける活動に関する雇用期間中の計画・抱負」の作成上の注意事項

下記の事項が記載されているものを，１つの電子ファイル（PDF ファイル又は Word ファイル）で作成してください。

1 履歴書（顔写真を添付すること）

１　氏名（ふりがな）・性別
　①　戸籍のとおり記入
　② 外国人の方は，ラスト（姓），ファースト（名）ミドル の順に英語表記で記入
２ 国籍
３ 生年月日（年齢）
４ 現住所
５　連絡先
６　学歴
　高等学校，又は高等学校と同等以上と認められた学校の卒業以後の入学，修了等のすべて（例えば，大学，高専別科，専攻科，大学院修士課程・博士課程の入学，卒業，修了，研究生，聴講生，単位取得満期退学，中退等）について記入
７　学位
　学歴欄に学位名，取得年月，取得機関，論文題目を明記
８ 職歴
　① 全体として空白期間がないように，無職，自宅研修も含めてすべてについて記入
　②職名，地位等についても記入し，その従事時期が分かるように，例えば「（１９９８．３まで)」と付記
　大学及び大学院の教員歴については，学科，研究科等も付記
　③現職については，「（現在に至る。)」と付記
９ 専門分野
１０　学会及び社会における活動等
　①　専攻，研究分野等に関連した学会の所属状況等
　②　学会等の主要な役員歴や重要な学会，会議等の主催者であった場合などに記入
１１　賞罰・処分歴等
　①　公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分（研究費の不正受給に係る処分等）を記入
　②　過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入
※　履歴書記載内容に虚偽の記載があった場合は、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

2 これまでの活動

過去の全ての以下の活動について記述してください。
１　安全保障貿易管理や利益相反マネジメントに関する実務経験
２　組織運営等への経験
３　留学経験または海外との業務経験

３ 知識イノベーション研究センターにおける活動に関する雇用期間中の計画・抱負

１　　希望する職名（特任教授、特任准教授又は特任助教のいずれかを記入）

２　「社会への貢献」という本学の理念を踏まえ，本学教員として知識イノベーション研究センターにおける活動に関する雇用期間中の計画・抱負について，２，０００字程度で記述して下さい。

※　別添記載例は，あくまでも参考であり，表記等は，当該分野の一般的な方法によってください。

※「履歴書」記載例

履　　歴　　書

00　00　　00　00
◎氏　名（ふりがな）　○　○　　○　○　　（男）

◎国　籍　　○　○

◎生年月日（年齢）　　１９○○．○．○生　（○○歳）

◎現住所　　〒○○○－○○○○
○○市○○町○丁目○番○号　○○アパート○○号

◎連絡先　　○○大学○○学部○○学科
Tel　(012) 345-6789　　Fax　(012) 345-7890
E-mail　0000@abcd.ac.jp

◎学歴

１９９５．３	○○県立○○高等学校　卒業　１
１９９５．４	○○大学○○学部○○学科　入学
１９９９．３	同上　卒業
１９９９．４	○○大学大学院□□研究科○○専攻修士課程　入学
２００１．３	同上　修了
２００１．４	○○大学大学院□□研究科○○専攻博士課程　入学
２００４．３	同上　修了，博士（□□学） 「(論文題目)・・・・・・・・・の研究」
論文博士の場合	
２００４．３	同上　単位取得満期退学　２
２００８．３	博士（□□学）（○○大学） 「(論文題目)・・・・・・・・・の研究」

◎職歴

２００４．４	○○株式会社○○支店○○課○○員（１９８０．３まで）
２００５．４	○○株式会社○○研究所　研究員
２００８．４	〃　　〃　　主任研究員
２０１０．４	〃　　〃　　主幹研究員
２０１２．１	〃　　△△研究所　　〃
２０１４．４	○○大学准教授 ○○学部　□□学科 現在に至る。
２０１６．４	△△大学非常勤講師（２０１７．３まで）

◎専門分野　　○○○○

◎学会及び社会における活動等　２００

２．４	○○学会会員
２００６．１	アメリカ○○学会会員
２０１５．４	日本○○学会理事

◎賞罰・処分歴等

２０１４．４	平成○年度科学技術分野の文部科学大臣表彰（科学技術賞）
２０１８．５	紫綬褒章